

指定管理者評価シート[自己点検・所管課モニタリング用](令和6年度実績)

施設概要

施設名称	板橋区立熱帯環境植物館	所在地	板橋区高島平8-29-2
所管課名	資源環境部環境政策課	指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日(第5期)
指定管理者名	ねったいかんパートナーズ	指定管理者の所在地	代表企業:西武造園 東京都豊島区南池袋一丁目16番15号
設置目的	区民に熱帯の植物及び生物の鑑賞の機会を提供し、自然環境保護に関する知識の普及啓発を図るとともに、余暇利用の増進に寄与することを目的とする。		
基本理念	(1)「板橋環境基本計画2025」での取り組みとして来館者数の増加を目指す。 (2)SDGsを推進し、自然の大切さと生物多様性を次世代に伝える。(重点項目) (3)植物・魚類の宝庫である東南アジアの熱帯雨林を再現し、身近な場所で熱帯の植物や生物に触れる・学べる体験を提供する。 (4)地域貢献及び近隣施設との連携		
行動規範	①関係法令やマニュアル等を遵守すること。 ②公平・公正なサービスの提供等に努めること。 ③効率的な運営を行い、管理運営経費の削減に努めること。 ④サービスの向上と利用者数増加の実現に努めること。 ⑤区及び区民、関係団体、官公庁等との連携を図った事業運営を行なうこと。		
業務内容	自然環境保護に関する知識の普及啓発及び実践の推進を図るとともに、余暇利用の増進に寄与することを目的とし、企画展、各種講座・講演会、音楽会、苗木植物配付など各種行事イベントを企画し、実施する。 利用者のニーズを反映させ、年間を通して集客効果が望めることを前提とし、以下の事業を実施する。 (1)植物や動物等、自然環境をテーマとする事業 (2)環境に配慮した新たなライフスタイルを提案する事業 (3)SDGsの普及・啓発を目的とする事業 (4)地域協働を目的とする事業 (5)ペナン植物園など東南アジアとの交流や、熱帯地方をテーマとする事業 (6)地域経済の活性化を図る事業 (7)館の特性(館内の景観等)を活用した事業 (8)大人の来館者が増える企画運営等 (9)館及び自然環境に関する情報発信を目的とする広報活動		

評価結果

評価項目	事業の目標と具体的な取組	一次評価(指定管理者による自己点検)					評価点		
		実施結果やサービス水準の増減理由など							
<b>【施設の経営方針に関する事項】</b>									
経営方針に基づく具体的な行動									
基本理念	具体的な目標	サービス水準	目標値・実績値(経過)					評価点	
			R2	R3	R4	R5	R6		
基本理念の達成に向けて、経営方針に基づく具体的な目標や取組、サービス水準を設定し、業務に取り組んでいるか	(1) 自然について体験・学習できる場の提供	入館者数	目標	40,000	130,000	130,000	130,000	130,000	5 / 5
			実績	35,861	100,581	122,830	134,317	154,394	
			増減理由	・新型コロナウイルス感染症の影響から実施を見送っていた「昆虫ふれあいコーナー」を復活し、大勢の方に貴重な体験を提供することができた。 ・入館者数は15万人を超え、過去最高の人数を昨年度に続き更新した。 昨年度比:入館者数115% 2023年度134,317人 2024年度154,394人					
(2)	SDGsについて学ぶ場を提供	環境にまつわる企画展(小規模企画展講座・イベント含む)回数	目標	13	50	50	50	50	5 / 5
			実績	11	32	52	53	53	
			増減理由	・当館に関連するSDGsのゴール(気候変動、海や陸の豊かさ、エネルギー、再利用等)について学ぶことができるよう、企画展示や小規模展示を通じて、ミニガイドやパネル展示を行うなど、様々なテーマでSDGsについて学ぶ場を提供した。 ・展示以外にも、ガイドや講座の場で、SDGsに関する学びとなるような環境問題などの話を交えながら、参加者に普及啓発を行った。 ・植物や生物をテーマとした講習会や、マレーシアのごはんをテーマにトークイベントを行い、様々な方にSDGsに関する学びの機会を提供した。					

評価項目	事業の目標と具体的な取組		一次評価(指定管理者による自己点検)					評価点	
			実施結果やサービス水準の増減理由など						
(3)	楽しみながら学べる体験型施設を目指す	体験型イベント回数	目標	6	20	20	20	20	5 / 5
			実績	6	18	39	37	36	
			増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生きものとのふれあいイベントを望む声に応え、様々な企画を実施した。</li> <li>・熱帯の昆虫と食虫植物展では、展示の昆虫をカブトムシの曜日、クワガタの曜日に分け、ヘラクレスオオカブトなどの目立つ昆虫を展示することによって、リピーターの獲得を狙い、様々な種類の昆虫にふれあえる機会を作り、満足度向上を図った。</li> <li>・ねったいかんフェスティバルでは、専門学校の協力のもと生きものふれあいイベントやケープペンギンとのふれあい企画を、体感水族館ではダイオウグソクムシやヌタウナギ、ミズクラゲとのスペシャルタッチ企画を実施した。</li> </ul>					
(3)	植物の知識の向上	ガイドツアー参加者数	目標	19	750	750	750	750	1 / 5
			実績	41	-	178	243	228	
			増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・館内ガイドツアーは、コロナ以降定員を設けながら実施した。目標人数には届かなかったが、少人数で実施することで解説がより伝わりやすく、参加者からの感想における満足度は高かった。</li> <li>・目標の750人には届かなかったものの、団体ガイドを積極的に受入れ、多くの方に植物の生態やそれを取り巻く環境について伝えるよう努めた。(団体ガイド64件、参加者数662人)</li> </ul>					
(3)	植物の知識の向上	緑化相談件数	目標	300	700	700	700	700	2 / 5
			実績	90	599	422	783	428	
			増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巡回時や企画展開催時、植物販売、ガイドなど、声かけを行い、植物について説明を行った。</li> <li>・植物の配布を行いながら積極的に声かけを行い、多くの質問に答えた。</li> <li>例年、春の展示とラン展で質問が寄せられるが、質問が集まらなかった。なるべく展示室にスタッフを配備するなど質問を受けやすい体制をとったが、来館者層の変化を感じた。</li> </ul>					
(3)	環境への取り組み、地球温暖化に対する意識啓発	緑のカーテン用苗や、当館で育てた苗の配布数	目標	200	500	500	500	500	5 / 5
			実績	220	472	813	552	500	
			増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴールデンウィーク、生物多様性の日に合わせて多くの植物苗を配布し、緑化普及に努めた。</li> <li>・GW期間中には、緑のカーテン用の苗を配布。</li> <li>・ねったいかんクラブの活動では、当館で育てたポトスの挿し木などを配布。</li> <li>3/22、3/23、3/29、5/21に配布実施。</li> </ul>					
(4)	地域コミュニティ活性化・他施設との連携した環境教育	連携イベント回数	目標	3	4	4	4	4	5 / 5
			実績	1	5	5	5	6	
			増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・赤塚植物園で行われる「グリーンフェスタ」、「高島平マルシェ」(春・冬2回)への協力と出店を行い、地域との連携強化と施設PRを実施した。</li> <li>・「板橋農業まつり」での展示では、来場者の興味を引けるよう昆虫の展示を行い、生物の鑑賞の機会を提供した。</li> <li>・高島平図書館のフリースペースにて、以前行った「マレーシアの食文化展」の展示を行い好評頂いた。</li> </ul>					

\* サービス水準の採点方法

(5点:達成率100%以上、4点:達成率90%以上100%未満、3点:達成率70%以上90%未満、2点:達成率50%以上70%未満、1点:達成率50%未満)